福島市新時代消防団計画2027（概要版）

閲覧用

1　計画策定の概要

平成３１年より実施してきた各施策の成果課題等を踏まえつつ、令和９年度から令和１６年度までを期間とし、地域防災にとって欠かすことのできない存在である消防団を将来に渡り維持していくとともに、消防団員の確保と活動しやすい体制づくりを進めるため、次世代に向けた第２期の計画を策定します。成果指標については４年で見直しを行います。

（1）　計画の趣旨

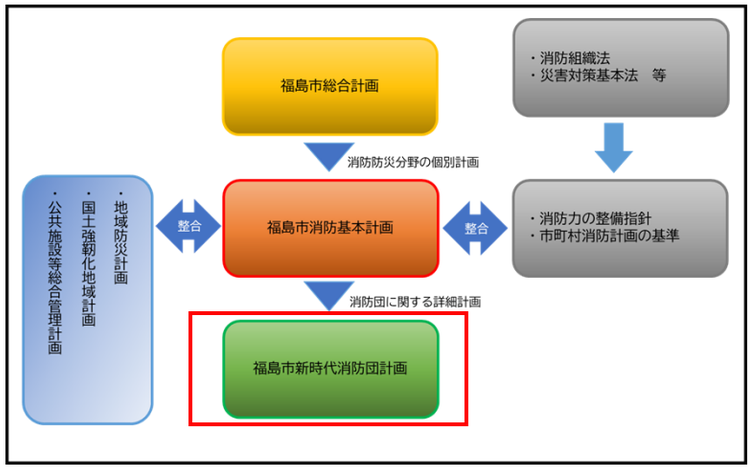
・地域防災に欠かすことのできない消防団員確保と消防団組織の長期維持

・消防団員が活動しやすい体制づくりの構築

（2）　計画の位置付け

・福島市総合計画の消防防災分野における個別計画

・消防基本計画の消防団に関する記載の詳細計画が新時代消防団計画



2　福島市消防団を取り巻く現状と基本的方向性

少子高齢化に伴い、地域防災の要である消防団員の減少や高齢化といった問題が生じており、将来に渡り持続可能な組織体制を構築するために対策を講じる必要があります。

そのためには、自然災害や社会課題の変化に挑戦・対応しながら地域住民の声を聞き、より身近な存在として地域に愛される消防団組織を目指して、各施策の実現に向け、取り組んでいきます。

3　目指すべき将来像

「地域とともに持続・成長する魅力ある消防団の実現」

「地域とともに持続」
　地域防災に欠かす事のできない消防団組織を地域とともに維持していく

「成長する魅力ある消防団の実現」
　消防団員への成り手が途絶える事ない、若者が魅力的だと思える消防団組織の実現

4　基本方針と各施策・主な取り組み

基本方針	各施策	主な取り組み
基本方針１ 団員の確保	１　地域の実情に応じた団員の確保	１　町内会等地元団体との連携による団員確保 １　任命要件の見直し １　幼少年への啓発 １　事業所等との連携 ○１　**認知度・関心度の向上** ◎１　**多様な消防団員の人材確保** ２　新規協力事業所の開拓 ○２　**既存協力事業所への若年層従業員等の入団呼びかけ** ３　拡充に向けた広報方法（PR）
	２　消防団協力事業所の増	
	３　消防団サポート事業の増	
基本方針２ 組織の体制強化	１　地域の実情に応じた出動体制の構築	１　各分団の社会情勢に応じた組織の在り方検討 ２　支援団員の入団促進　（令和２年１０月１日施行） ２　事業所団員の入団促進（令和２年１０月１日施行） ２　学生団員の入団促進　（令和２年１０月１日施行） ２　その他　（新たな機能別団員の設立） ３　女性団員の入団促進 ３　組織体制作り ○３　**環境整備** 新消防本部庁舎内への拠点スペース設置 （令和１０年４月１日竣工予定）
	２　機能別団員の入団促進	
	３　女性消防団員の充実	
基本方針３ 施設・装備の充実	１　屯所等施設の適正管理	１　屯所・車庫 １　屯所・、単独屯所及び置場 １　火の見櫓・ホース乾燥ポール ２　車両更新 ２　消防車両等の整備（ポンプ車、積載車、広報車等、その他） ３　団員の安全確保対策 ○３　**装備品の管理方法の見直し**
	２　車両等の適正管理	
	３　装備品の充実	
基本方針４ 処遇の改善	１　団員処遇の改善	１　団員報酬の確保 ◎１　**免許補助制度の導入** ◎１　**地域に必要な機能別団員・分団制度の検討**
基本方針５ 教育・訓練の充実	１　教育・訓練の強化	１　教育体制の充実 ○１　**現場対応訓練の充実** 新消防本部庁舎（令和１０年４月１日竣工予定）施設を使用した訓練の実施 １　組織体制に係る全体への教育充実 １　研修受講機会の確保 ２　ポンプ操法の理解と意義 ２　今後の在り方について
	２　消防操法への取組	
基本方針６ 地域との連携	１　自主防災組織等の育成指導	１　自主防災組織等との良好な関係性の構築 １　地域と連携した訓練の実施と指導 １　地域での防災教育の取組

記載詳細：◎新規　○一部新規及び事業の充実